

2022 年 6 月 28 日

実践女子大学・実践女子大学短期大学部
教員研修 実施報告書（Web 公開用）

1. 所属	人間社会学部 現代社会学科
2. 職名・氏名	教授・篠崎 香織
3. 研修期間	2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日
4. 研修先機関（国名）	九州大学大学院経済学研究院 (2021 年 11 月 1 日～2022 年 3 月 31 日) Queensland University of Technology (QUT) Business School, Management 所属の Dr. Mohannak のところでの研修を予定してしま したが、新型コロナウイルス感染症の影響で渡豪できず、上記に研修先 を切り替えました。
5. 研修課題名	顧客価値の共創メカニズムの解明と概念化
6. 研修経過 (月単位で記載してく ださい) 例) 4 月上旬～5 月下旬:	4 月-5 月: 関連の事例の探索とインタビュー調査 6 月-9 月: これまで取り組んできた事例の深掘りとして、二次データ の収集と分析。論文の修正と学会発表の準備。 10 月-12 月: 文献レビューと論文の構成の検討 1 月-3 月: 追加の調査とデータ収集、研究の設計
7. 本研修で得られた成 果等（論文・学会発表含 む）	インタビュー調査や調査対象企業とのメールでの確認等を通じて 情報を得ることで、研修に入る前に取り組んでいた論文の改訂を行 い、それまでの研究に一区切りつけることができました。また、企業 が公表しているデータや特許データなど、膨大なデータに触れること で、これまでとは異なる視点から研究を進める手掛かりを得ることが できました。 【論文】 Kaori SHINOZAKI and Akiya NAGATA (2022). How Acquisitions Change Organizational Structures, Product Portfolio, and Market Positions ;Findings from the Case of a Japanese Monitor Manufacturer, <i>Portland International Center for Management of Engineering and Technology</i> (in print) 【学会発表】 篠崎香織・永田晃也 (2021) システム統合による顧客価値の共創ー医 療用映像システムの事例に基づく概念化の試みー、研究・イノベーシ ョン学会第 34 回年次大会

8. 所感	これまで隙間の時間に研究を進めるようなスタイルになっており、短い期間でなんとか形（成果物）にしようとする傾向にありました。研修中はこのような研究のあり方を見直し、少し先を見据えた方向性を検討する機会にもなりました。 貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。
-------	--